

安全データシート

1 製品及び会社情報

会社名 アルプス株式会社
住 所 東京都新宿区早稲田南町 33
電話番号 03-3207-0006
FAX番号 03-5272-0051
緊急連絡電話番号 上記に同じ

作成日 2023 年 1 月 5 日

製品の名称 木工用アルプスボンド AB-40BS

2 危険有害性の要約

GHS 分類：
引火性液体 区分外
急性毒性（経口） 区分外
生殖細胞変異原性 区分外
発がん性 区分外
生殖毒性 区分外

ラベル要素：

・ 絵表示 なし

・ 注意喚起語 非該当

・ 危険有害性情報

・ 注意事項（GHS 対応表記）

3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物
化学名又は一般名 酢酸ビニル樹脂エマルジョン系接着剤

成分及び含有量

成 分 名	含有量（％）	官報公示整理番号 （労働安全衛生法）	CAS 番号
酢酸ビニル樹脂等	40～44	6-295	9003-20-7
酢酸ビニルモノマー	0.3 以下	2-728	108-05-4
水	56～60		

※ 本製品には厚生労働省指定 13 物質は使用していません。

4 応急措置

目に入った場合：清浄な水で 15 分間以上洗眼し、眼科医の診断を受ける。
皮膚に付着した場合：付着した衣服、靴を脱ぎ、付着した部分を水または微温湯を流しながら、洗浄する。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、安静、保温に努め、医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合：水で口の中をよく洗い、直ちに医師の診断を受ける。
無理に吐き出させないようにする。

5 火災時の措置	特定の消火方法：このもの自体には可燃性はないが、水分が蒸発した後の乾燥物は可燃性である。燃焼の際は、火元の燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。延焼の恐れのないよう水スプレーで周辺を冷却する。消火作業は風上から行う。 消火を行う者の保護：保護衣を着用するほか、状況によっては、不浸透性手袋、有機ガス用防毒マスク等の保護具を着用する。 消火剤：水 [○]，二酸化炭素 [○]，泡 [○]，粉末 [○]，乾燥砂 [○] その他（強化液）
6 漏出時の措置	人体に対する注意事項：作業の際には長靴，手袋，保護眼鏡などの保護具を着用する。 環境に対する注意事項：流路を毛布，土嚢等を用いてせき止め、多量流出の場合はバキューム等で汲み上げ、又、少量流出の場合はおが屑，土砂，パーライト等を混ぜ、モルタル状として凝固回収する。 除去方法：少量の場合は、紙や布でふき取り焼却する。多量の場合は、火花の出ないシャベル等で密閉できる容器にすくい取り、焼却する。 ※多量に河川、湖沼へ流出した場合は、必要に応じ都道府県市町村の公害関連部署等に直ちに連絡を取る。
7 取扱い及び 保管上の注意	取扱い：取扱いは、換気の良い場所で行う。 目、皮膚への接触を防止するため、状況に応じ保護眼鏡，保護手袋などの保護具を着用する。 混合接触させてはならない物質：知見なし。 容器包装材料：容器は破損、腐食、割れ等のないものを使用する。 保管：凍結，直射日光を避け、屋内で保管すること。 保管時の温度は、5℃以下あるいは35℃以上とならないようにする。 皮張り防止のため、使用後は密封して貯蔵する。
8 暴露防止及び 保護措置	保護具：呼吸器の保護具：着用が好ましい。 目の保護具：着用が好ましい。 手の保護具：着用が好ましい。 皮膚及び身体の保護具：着用が好ましい。
9 物理及び化学的 性質	外観：液体 色：乳白色 臭い：わずかにあり。 PH 及びその濃度：pH 4.5 物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲： 融点：約0℃ 密度：1.1×10³ kg/m³ (23℃) 溶媒に対する溶解性：水で無限大で希釈可能
10 安定性及び反応性	安定性：通常の実験条件においては安定。 危険有害反応可能性：なし 避けるべき条件：なし 混触危険物質： 危険有害な分解生成物：知見なし。
11 有害性情報	急性毒性：知見無し。 局所効果（皮膚，眼）：皮膚に付着したままにしますと、炎症をおこす場合もあります。 蒸気を吸引しますと、頭痛をおこす場合もあります。

1 2 環境影響情報 漏洩時、廃棄などの際には注意を守ること。
生態毒性：知見なし
残留性/分解性：知見なし
生体蓄積性：知見なし
土壌中への移動性：知見なし
他の有害影響：魚毒性：河川等に流出した場合には、エマルジョン中の樹脂の粘着による呼吸困難のため、魚類が死亡する場合がある。

1 3 廃棄上の注意 残余廃棄物：廃棄物の処理及び清掃に関する法律の分類では廃油と廃プラスチック類の混合物で、焼却する場合は、焼却設備を用いて少量ずつ焼却する。又、産業廃棄物として処理する場合は、許可を受けた処理業者に委託する。
洗浄水等の廃水は凝集沈殿、活性汚泥等の処理により清浄にしてから排出する。
水質汚濁防止法に御注意下さい。
汚染容器・包装：内容物を完全に除いた後処分する。処理は法規の規定に従って行う。

1 4 輸送上の注意 運搬に際しては容器の漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
参考資料：日本エマルジョン工業会編「合成樹脂エマルジョンの輸送事故対策指針」

1 5 適用法令 化学物質管理促進法（PRTR法）：該当せず
労働安全衛生法：57条-1表示対象物質 該当せず
労働安全衛生法：57条-2通知対象物質 酢酸ビニル
毒物及び劇物取締法：該当せず
消防法：該当せず

1 6 その他の情報 J I S K 6 8 0 4 (酢酸ビニル樹脂エマルジョン木材接着剤) 認定品
ホルムアルデヒド放散による区分 F☆☆☆☆

ホルムアルデヒド基準：

日本接着剤工業会自主管理規定 JAIA001562 F☆☆☆☆

4VOC放散速度基準：

日本接着剤工業会自主管理規定 JAIA502546 4VOC基準適合

記載内容は、現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては情報提供であり、いかなる保証もなすものではありません。

また、記載事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。

引用文献

1 1 3 1 9 7 の化学商品	化学工業日報社
2 化学物質の危険、有害便覧	中央労働災害防止協会
3 知っておきたい職場の化学物質	中央労働災害防止協会
4 製品安全データシートの作成指針	日本化学工業協会
